



# うと市議会だより

編集／議会だより編集委員会

発行／宇土市議会 平成21年2月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



成人式運営委員の皆さん

## 成人式

1月11日(日)、宇土市民会館で成人式が開催され、晴れ着やスーツで着飾った新成人377人が出席しました。

## 第34回宇土市地区対抗駅伝競走大会

1月12日(月)、市内7地区のチームが参加し、6区間27.4キロメートルのコースで健脚を競いました。



第34回宇土市地区対抗駅伝競走大会

## CONTENTS

- P 2 平成20年第4回定例会
- P 3 ～ 一般質問
- P 8 ～ 委員会報告
- P 11 ～12 議案・陳情等の議決結果
- P 12 3月定例会会期日程

# 平成20年 第4回定例会

第4回定例会を12月4日から19日まで16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、平成20年度一般会計補正予算など予算関係8件、宇土市企業立地特別奨励金条例など条例関係11件、専決処分の報告及び承認関係1件、宇土市教育委員会委員の任命についての人事案件4件、その他2件、議員提出議案として、宇土市長の専決処分に関する条例の一部を改正する条例など2件の計28件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。また、去る9月定例会において決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査でありました平成19年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の計10件を認定しました。

なお、議案の主なものは下記のとおりです。



宇土小学校

## 【議案の主なもの】

### 予算

◆平成20年度宇土市一般会計補正予算（第5号）について  
歳入歳出それぞれ2億5882万9千円を増額し、総額を140億8160万5千円とする。補正の主な内容は、私立保育所事業経費3832万円、宇土小学校と網津小学校の耐震補強改修事業経費2103万8千円の増額などである。

◆平成20年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について  
歳入歳出それぞれ803万3千円を増額し、総額を3億4945万5千円とする。補正の内容は、後期高齢者医療制度システム改修経費の増額である。

### 条例

◆宇土市企業立地特別奨励金条例について  
立地企業に対する既存の優遇策に加え、新たに奨励金制定を設けることにより、企業誘致を促進するもの。

・奨励金交付の要件（以下のすべての条件を満たすもの）  
①市内に5000㎡以上の用地を取得し、3年以内に操業開始するもの  
②投下固定資産総額が3億円以上であること  
③新規雇用者の数が5人以上であること  
④公害防止その他関係法令に違反していないこと

・奨励金の種類、額  
①用地取得費奨励金  
用地取得価格の100分の20（限度額3億円）の額  
②給水加入金交付金  
水道給水装置の新設時に納入した加入金相当額

・施行日 平成21年1月1日

◆宇土市漁業集落排水施設条例について  
整備を進めてきた戸口・下網田地区の漁業集落排水施設の供用を開始し、施設の管理を行うため、条例を制定するもの。

◆宇土市浜戸川運動広場条例について  
浜戸川の河川敷きに運動広場を設けるため、条例を制定するもの。設ける施設は、グラウンドゴルフ場とアーチェリー場で使用料は無料とする。

### 人事

◆宇土市教育委員会委員の任命について  
河口保郎・本多聡子（敬称略）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
大塚康洋・岡崎一孝（敬称略）





名水百選「轟水源」は…？ 親切でわかりやすい公共サインを

## 誘導・案内機能の充実したサイン整備計画を要望提案

市民の自発的まちづくりの推進について



(無所属)

九谷新吾 議員

公共サイン計画について

**九谷議員** 公共サインに対する考えについて。

**池田総務企画部長** 公共サインは、単に情報を伝達するという機能だけでなく、地域性、まちのイメージを伝える役割も果たすものであり、デザイン等も重要であると考えている。

**九谷議員**

①『市民提案型』協働によるまちづくり宇土市総合計画「進めよう 市民参画プロジェクト」の経過と成果（評価）について。

②市民が行政に参画しやすい環境づくり市民参画のルール化を図るなど仕組みづくりを進めると明記されているが。

③市民活動団体等が自主的・主体的に取り組む事業について支援措置を講じる環境整備を進めるべきではないか。以上の3点について質問を行った。

**九谷議員**

平成13年にサイン計画について一般質問を行ったが、その後の状況について。

**池田総務企画部長**

統一的なサイン検討のために関係部署による研究会を発足させると、当時の担当部長が答弁をしているが、これがなされていない。この点について、まず陳謝したい。現在の公共サインへの取組みについては、文化財・観光地等への誘導サイン及び説明板等を計画的に整備している。特に説明サインについては日本語だけではなく、英語・韓国語の表記をす

るよう心がけている。

**九谷議員**

千葉県佐倉市は、公共サインの台帳を整備し一括管理をしている。宇土市はどのようになっているのか。

**池田総務企画部長**

市全体の公共サインについて、設置場所や目的、サイズ、担当などの情報を網羅した台帳が整備されているかとの質問だが、現在のところ整備していない。議員から千葉県佐倉市がサインを6種類に分類しているとの紹介があったので、参考にしながら、関係部署と協議をし、より良い方法を見出していきたい。



マタニティマークのグッズ

## 子育て支援の環境づくりを

### 子育て支援について



(公明党)

芥川幸子 議員

**芥川議員**

厚生労働大臣が、誰もが安心して妊娠・出産できる対策として「妊婦健診14回分は無料にする」との発言があったが、本市においても子育て支援の環境づくりとして、妊婦健診14回分の無料化に向けて取組んでもらいたい。

**太田健康福祉部長事務取扱い**

今後の国の動向を踏まえ、他市町村とも協議を図りながら検討していく。

**芥川議員**

乳幼児のおむつ替えや授乳に利用できる場所を、公施設などに設置してはどうか。

**太田健康福祉部長事務取扱い**

既存施設では、授乳室等のスペースの確保ができるか検討する。また、このような取組みを公共施設だけでなく、商業施設などにも協力を呼びかけていけばとも考えている。

**芥川議員**

本市が「教育立市」を目指している中、行政が、家庭・学校・地域を支援する団体とうまくつなぎ合わせる役割が必要だと考える。今後、子育て支援のネットワークづくりについて、どのように考えているのか。

**木下教育長**

策定中の「教育立市プラン」の基本目標の一つに「家庭、学校、地域が連携し子どもたちの生きる力を育む教育を行う」と示しており、そのために、知恵を出し合えるネットワークづくりは、今後しっかりと検討していく必要があると考えている。

### リサイクル推進と財源確保について

**芥川議員**

不要な入れ歯を回収ボックスで集めて金属のリサイクルをし、途上国の子どもたちを支援する活動がある。本市で

も実施したらどうか。

**小沢市民環境部長**

不要入れ歯リサイクルボックス設置に前向きに取組む。

**芥川議員**

市の財源確保になるよう、市指定ごみ袋へ広告を掲載してはどうか。

**小沢市民環境部長**

他市町の実施状況を詳細に調べ実施の検討を行う。

### 福祉対策について

**芥川議員**

重度心身障がい者医療費助成制度について、現在、償還払いとなっているものを現物給付にできないか。

**太田健康福祉部長事務取扱い**

県下の動きを見ながら、今後検討していく。

**芥川議員**

重度障がい者等の生活用具給付事業で、障がい者の方に代わって市が登録事業者に発注し、最も低い用具を選ぶことができない見積もり競争の導入は可能か。

**太田健康福祉部長事務取扱い**

利用者の意見を尊重しながら、単価契約も含めて検討していく。



イチについて よーいドン！

## 子ども達の未来のために



(無所属)

上村雄二郎 議員

国民健康保険証のない  
子どもについて  
—子ども達を守れ—

**上村議員** 国民健康保険の保険税を滞納したため保険証を返還し、代わりに「資格証明書」を交付された世帯があるが、親の都合で、子ども達が必要な医療サービスを受けられなくなる場合が発生する。宇土市の対応は、

**太田健康福祉部長事務取扱**

税の公平性と国の基準から収入があるのに国保税の納付がない世帯に対して、資格証明書を交付している。しかし、収入の少ない世帯には資格証明書は交付せず、短期保険証を交付し納税相談を図っている。また収入があるのに国保税の納付がない世帯であっても、重病等特別の事情がある場合は、特別の事情に

関する届出書に必要書類を添えて提出されれば短期保険証を発行している。平成20年10月30日

付けで国からの子どもがいる保険者資格証明書の交付内容は、養育環境に問題のある世帯の実情把握。国保税を滞納している世帯主から、子どもに医療を受けさせたいが、医療の一時払いが困難だと申し出があった場合、短期保険証を速やかに交付すること等となっている。このことを踏まえ努力していく。

**宇土市教育立市プラン**  
—宇土からオリンピック選手を—

**上村議員** 市制施行50周年を記念し「教育の日」が制定され、

教育委員会「教育立市プラン」を策定することとなった。7地区語ろう会を通じて市民の

教育に関する関心度と、将来を見据えた大きな目標の基にプランの詳細を積み上げていったらどうか。例えば、—宇土からオリンピック選手・ノーベル賞受賞者を—

**山内教育部長**

7地区語ろう会には、地域住民、学校関係者等、延べ212名の方に参加いただき、多くの貴重な意見や提案をいただいた。この語ろう会を通じて市民の教育に対する関心度も高まってきているように感じているところだが、市全体としてはまだまだであり、今後に関心度を高めるような取組みを実施していく必要があると考えている。

**木下教育長**

本市は教育に関し、素晴らしい歴史を持っており、文教の里と言えらると思う。宇土の先人達の精神を尊重し、長期的な視点に立った教育立市を目指すため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、それを果たすとともに、互いに連携を図り、宇土市全体でプランに沿った施策に取り組んでいきたいと考えている。



市役所本庁

## 宇土市の財政状況、好転の兆し見えす

### 緊急財政健全化期間の実績について



(無所属)

村田宣雄 議員

**村田議員** 平成16～20年度までの財政健全化推進プランのうち平成17～19年度までは、緊急財政健全化期間と位置付けていたが、その実績はどうだったか。

**池田総務企画部長** 三位一体の改革の影響で平成17～19年度までの3年間で約13億円の赤字が見込まれた。この3年間で緊急財政健全化期間と位置付けて健全財政への転換に取組んだ。その目標は、3年間の赤字を6億6千万円に止めるというものだった。実績は議員各位、市民の皆様のご理解ご協力で、赤字

額は3億7千万円に抑えることができ、赤字期間も平成17と18年度の2年間で済んだ。また、財政調整基金と減債基金についても、平成15年度末残高12億8千万円が平成19年度末には約半減の6億3千万円まで落ち込むと試算していたが、9億6千万円確保できた。なお、平成19年度にはわずかだが基金積増もできた。

**村田議員** 財政健全化推進プラン(緊急財政健全化期間含む)で取組んだ市単独補助金カットや受益者負担増加の緩和、改善をする考えはないか。

**池田総務企画部長** 出来る限りご期待に添う努力をしなければ

ならないと思っている。しかし、学校施設の耐震改修事業に着手しており、平成21年度から23年度までの3年間は総事業費約36億円の小学校改築工事が本格化するため一般財源が不足する事態が予測されている。この財源不足には基金を取崩して対応せざるを得ないと考えている。また、熊本県の財政状況が極めて深刻で市町村への影響も大きなものになるのではないかといった不安要因もある。こういった財政健全化推進プランを策定したときには見込めなかった行政需要や環境の変化に対応するためには健全化プランの取組みを踏襲した財政運営が必要な状況ということをご理解いただきたい。

**村田議員** ①中長期の財政計画の策定(平成21～25年度)と公表 ②介護保険料の改正に当たる保険料の引き下げについて要望した。



保険課窓口

## 誰もが安心して医療を受けられるように

資格証明書の発行を中止し、無保険状態をなくせ



(日本共産党)  
福田慧一 議員

費は全額負担となる。保険税が払えないのに医療費を全額負担することなどできない。そのため治療を控え、病気が進んで我慢できず、病院に駆け込んだ時には、すでに手遅れで命を落とす人も年々増えている。児童、生徒が学校で病気や怪我をして

も保険証がないため、治療ができない事態が全国各地の学校でおきており、社会問題になっている。資格証明書の発行、つまり保険証の取り上げは、皆保険制度の主旨からも人の命に関わる問題であり、直ちに中止し、保険証を渡すべきではないか。

短期保険証の速やかな交付及び更なる納付相談の機会を確保することに努めていきたい。

**福田議員** 国も改善を指導しているし、いろいろな理由を付けてないで、子どもにだけは、すぐに保険証を発行すべきではないか。

**田口市長** 子どもには、すぐに保険証を発行したい。また、滞納されている方々の中で、生活が苦しい世帯については、福祉の面で対応できないか検討していきたい。

**福田議員** 国民健康保険税は、所得税や市民税に比べ負担が重いため、払いたくても払えない滞納世帯が増えている。国保税を一年以上滞納すれば原則として、保険証が取り上げられ、代わりに資格証明書が発行される。資格証明書の発行世帯数とその中に中学生以下の子どもがいる世帯は、何世帯で何人いるか。

**太田健康福祉部長事務取扱** 資格証明書の交付は、82世帯で中学生以下の子どもがいる世帯は、10世帯で18人の子どもがおられる。

**福田議員** 資格証明書では医療

**太田健康福祉部長事務取扱** 国保税を滞納している世帯から、子どもに医療を受けさせる必要が生じ、医療費の一時払いが困難だとの申し出があった場合、

**福田議員** この他、市の業務委託や物品購入等については、契約方法を点検し、より競争性を働かせ、その内容を公開し、透明性を高めるべきではないか。また、花園地区の国道3号沿いで5月から営業しているビジネスホテルは、ラブホテルの疑いがあるため実態調査を行い、問題があれば改善などの指導をすべきではないかとの質問を行った。

12月11日に経済建設委員会、12日に文教厚生委員会、15日に総務市民委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。その主な内容は、次のとおりです。

## 総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管



芥川幸子委員長

付託されました案件は、条例関係4議案、予算関係1議案、その他1議案であります。

議案審査の過程において論議されました主なものを報告申し上げます。

住吉駅のトイレ設置工事が予算計上されているが、建築後の管理については、どうなるのかとの質疑に対し、執行部から、既に、地元の振興会や嘱託員さんとの話し合いを行い、地元の方にお願いをすることによって理解はいただいております。ただ、管理内容については、現在検討中でありますとの答弁がありました。

次に、税務課から宇土市長の専決処分に関する条例改正についてのお願がありましたので、ご報告いたします。

現在、税務課では滞納整理を強力に押し進めておりますが、滞納者の方から納税相談を受ける中で、複数の貸金業者から金銭を借り入れている、いわゆる多重債務者が多数おられます。このような滞納者の方から貸金業者へ返済した明細書を見せていただくと、通常の利息制限法に基づく法定利息を大幅に超えた利率で返済されている場合が多々あります。つまり、不当な利息分を滞納者の

方が貸金業者に支払っていたこととなります。

そこで、不当な利息分について、返済請求権を滞納者本人の了解を得て差し押さえ、過払いとなった返済済み額について、市が貸金業者に対し、訴訟を起こすということを検討しているということでありました。

ここで、「訴えの提起」については、地方自治法第96条第1項第12号で規定してあります議決事項であり、本来ならば、その都度、議会に上程し議決をいただくべきところではありますが、公金の滞納整理という特殊な案件であり、事務処理を速やかに行い、確実に債権の回収を行う必要がありますので、宇土市長の専決処分に関する条例に「市税及び国民健康保険税の賦課徴収その他歳入の徴収について生ずる訴えの提起」を追加していただきたいということでありました。

本来、宇土市長の専決処分に関する条例は、議会の議決権限であり、議会から市長に委任した案件が専決処分となります。つまり、市長には、委任事項の指定についての提案権がありませんので、議員発議としてお願いしたいということでありました。以上の報告を受け、委員から、他市の事例では、裁判で勝訴したということは聞いているが、貸金業者も弁護士等がおり、かなり厳しい状況であると思われるので、慎重に対応するようにとの意見がありました。

以上が論議されました主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決いたしました。

## 経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



堀内千秋委員長

付託されました案件は、条例関係5議案、予算関係4議案、専決処分5の報告及び承認関係1議案、その他1議案であります。

議案等の審査の過程において論議されました主なものを報告申し上げます。

まず、委員から、宇土市企業立地特別奨励金条例について質疑がありました。第9条第2号で対象施設等を休止し、又は廃止したときは、指定を取り消し、かつ奨励金及び交付金の全部又は一部を返還させることができるとの条文があるが、社会情勢、経済状況などの影響で10年、20年後に企業が休止、廃止となった場合でも、返還しなければいけないのかとの質疑に対し、執行部より、施行規則で整備し、返還対象期間について明記しますとの答弁がありました。

次に、宇土市漁業集落排水事業に係る条例について、質疑、要望があ

りました。まず、受益者から徴収する分担金は、1戸当たり5万円の定額方式で算出しているが、公共下水道のように土地面積に応じて算出しないのかとの質疑に対し、汚水としては、トイレ、台所など家庭内の使用などは決まっております、各家庭の受益は等しいという考えから、土地面積に関係なく、定額方式で算出し一律5万円としましたとの答弁がありました。

また、平成28年度の加入率の目標は100%との説明であったが、処理区域には独居老人の方や高齢世帯が多く、中には厳しい生活状況の方もおられ、目標達成は難しいと思われるため、その方々に加入していただくためには、水洗便所改造資金融資あつ旋の条件に該当しなかった場合の対処方法や加入率向上のための方策を考えなければいけない。また、使用料、分担金については、減免措置などの徴収方法を検討し、滞納がないよう努めてもらいたいなどの要望がありました。

以上が、論議された主な内容です。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決いたしました。



村田宣雄委員長

付託されました案件は、条例関係1議案、予算関係5議案、陳情1件であります。

平成20年度宇土市一般会計補正予算(第5号)の主なもの 保険課 出産育児一時金繰出金と国保財政補てん繰出金の増額補正。福祉課 障害者福祉費、児童福祉総務費の増額補正。保育所費・乳児の保育所利用増による補正。子育て支援費と生活保護扶助費の増額補正。教育委員会 繰越明許費として、宇土小学校、網津小学校耐震補強改修事業の限度額の実設計委託料。小学校、中学校の図書購入費の増額補正。中央公民館分館やきもの教室棟の改築経費。平成20年度国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計等の増額補正。

次に、議案等の審査の過程において論議されました主なものをご報告申し上げます。

まず、短期保険証について、国は法律の改正が予定されており平成21

年4月から中学生以下の子ども達に対しては、一律で6ヶ月間の短期保険証を交付する法案が今国会に提出されています。宇土市において、中学生以下の子ども18人に資格証明書が発行されているということだが、平成21年4月を待たずに1月からでも短期保険証を交付するよう要望がありました。

次に、後期高齢者医療制度は、国の制度であり、国民や高齢者の多くの方から、問題が指摘されており、制度を廃止し、元に戻した制度でよりよいサービスの充実に努めることが大事ではないかとの意見がありました。

次に、図書費に寄附金をいただいているが、学校別に国の基準にバラツキがあり、予算の配分にあたり充分考慮するよう指摘がありました。以上が、論議された主な内容です。本委員会に付託を受けました議案第101号、104号、105号、106号、108号は全会一致で、議案第110号については賛成多数で原案のとおり可決いたしました。次に、陳情第4号介護保険制度の見直し等に関する陳情については、全会一致で採択いたしました。



岩本廣海委員長

12月5日、執行部出席のもと本特別委員会を開催しました。

まず、用地取得の状況として、宇土市では面積ベースで600㎡増、0・6%の伸び、地権者ベースでは1人増、1・2%の伸び、熊本市では、面積ベースで1200㎡増、1・4%の伸び、地権者ベースで5人増、5・7%の伸びとなっている。

次に、工事の状況については、3mの高さに土を盛り、沈下の状況を測定するため、12月に試験盛土の工事を発注する予定である。また、今年度中に、農免道路よりも北側部分への道路、用排水路のボックス敷設工事の発注を予定している。

橋梁タイプについては、現在、河川との事前協議を進めている状況である。

また、補正予算については、平成20年度の当初予算は11億円であるが、今回3億円の追加補正があつている。

との説明がありました。以上の報告を踏まえ、委員会で論議されました、主な内容をご報告いたします。

委員より、今回3億円の追加補正があつているが、その内、宇土市の配分額はどれくらいかとの質疑に対し、国土交通省から、3億円の追加補正は、どちらの市の分ということではなく、用地費としての補正であり、予算が余った場合は、工事費に使用したいと聞いている。

また、平成19年度の補正予算8億円に比べて、今年度は3億円と少ない。今後も追加補正があるのかとの質疑に対しては、現在、国において景気浮揚対策として第2次補正予算の話があつている。内容については不明であるが、後をどう追加補正してもらうのが大事だと思つているとの説明が執行部よりありました。最後に今後の当委員会の取組みといたしまして、熊本宇土道路の早期整備に向けた予算の獲得と、網田・城塚間の1日も早い整備区間への格上げを目指して、頑張つてまいりたいと思ひます。

## 決算審査特別委員会



西山宗孝委員長

「平成19年度宇土市一般会計歳入歳出決算、及び各特別会計歳入歳出決算」認定に係る審査について、9月定例会において決算審査特別委員会に付託を受け、次の点を基本に7回の委員会を開催し、審査（平成20年9月26日～11月21日迄）を行いましたので、その結果の概要を報告します。

一、予算の執行は、合理的かつ効率的に行われ、所期の目的が達成されたか。

一、繰出・繰入は計画どおり行われたか。

一、行政効果の確保について

一、総合的な財政力指標について

一、次年度の予算編成に反映されたか。

### （決算の概要）

一般会計歳入総額134億237万円余、歳出総額は125億1

911万円余で、差し引き8億325万円余。翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支額は3892万円余です。結果、財政指標は実質公債費比率17・2%、經常収支比率94・9%、一時借入金4億円、起債現在高は170億8696万円余、各種基金の年度末現在高は14億1260万円余となっています。前年度と比較すると実質公債費比率で1・5ポイント改善、經常収支比率で0・2ポイント改善した一方で、起債現在高は3億7343万円と増加しています。財政調整基金を始めとする各種基金総額は、ほぼ横ばい状況です。特別会計の歳入総額は126億7884万円余に対し、歳出総額は125億4763万円余で、差し引き1億3121万円余となっています。なお、起債現在高は57億1000万円余です。

### （歳入確保と予算執行）

自主財源の柱である市税については、現年課税分の収納率98・07%で目標数値を達成。自主財源比率は前年度と比較すると0・67ポ

イント減少し、36・53%となり、依存財源がその分増加しています。また、一般会計の収入未済額は、4億600万円余、不納欠損額は4000万円余、特別会計の収入未済額は5億6600万円余、不納欠損額は4290万円余でした。

いずれも関係課において対策が講じられておりますが、更なる改善を指摘したところです。各会計ごとの予算執行については、極めて厳しい財政状況の中、適正な運用が行われており、概ね所期の目的を達成したものと認められました。また、第6次行財政改革大綱で「数値目標」として掲げてあります「職員数の削減」や「市税収納率」などは達成されていますが、目標を93%とした經常収支比率では、県内14市の平均よりも上回ってはいるものの、94・9%と依然として厳しい水準で財政構造の硬直化が進んでいることはいなめなるところです。

### （総括）

本市財政の運営は国、県はもとより、経済の不安定さ、社会構造の激変などにより、依然として厳しい環境下にあります。市では「第6次行財政改革大綱」を基に

職員を意識改革を進め、行財政運営が行われてきました。引き続き改革の手をゆるめることなく、「第6次行財政改革大綱」にある「さらなる市民満足度の向上」を図るため、職員の自治体経営感覚の徹底や発想方法を転換する意識改革を進めていきたいと思っております。審査の過程において各委員から出された指摘事項については、今後の予算編成、行財政運営に充分に反映されると期待しています。

本委員会は、慎重に審議を重ねた結果、付託されました議案第64号から議案第73号については、全会一致で原案のとおり認定することに決定いたしました。

※なお、詳細については、市議会ホームページ、または会議録をご覧ください。



## 平成20年第4回定例会議決結果一覧（平成19年度決算）

### 【市長提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果
第64号	平成19年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月3日	12月4日	原案認定
第65号	平成19年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第66号	平成19年度宇土市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第67号	平成19年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第68号	平成19年度宇土市奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第69号	平成19年度宇土市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第70号	平成19年度宇土市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第71号	平成19年度宇土市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第72号	平成19年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃
第73号	平成19年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃

## 平成20年第4回宇土市議会定例会議決結果一覧

### 【市長提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果	付託委員会
第91号	専決処分等の報告及び承認を求めることについて 専決第12号 平成20年度宇土市一般会計補正予算（第4号）について	12月4日	12月19日	原案承認	経済建設
第92号	宇土市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	〃	〃	原案可決	総務市民
第93号	宇土市部課設置条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第94号	宇土市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第95号	宇土市企業振興促進条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	経済建設
第96号	宇土市税特別措置条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	総務市民
第97号	宇土市企業立地特別奨励金条例について	〃	〃	〃	経済建設
第98号	宇土市漁業集落排水施設条例について	〃	〃	〃	〃
第99号	宇土市漁業集落排水事業分担金徴収条例について	〃	〃	〃	〃
第100号	宇土市漁業集落排水水洗便所改造資金融資あっ旋及び利子補給に関する条例について	〃	〃	〃	〃
第101号	宇土市浜戸川運動広場条例について	〃	〃	〃	文教厚生
第102号	辺地総合整備計画について	〃	〃	〃	総務市民
第103号	宇土市道路線の認定について	〃	〃	〃	経済建設
第104号	平成20年度宇土市一般会計補正予算（第5号）について	〃	〃	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第105号	平成20年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第106号	平成20年度宇土市奨学基金特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	〃
第107号	平成20年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃	経済建設
第108号	平成20年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第109号	平成20年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	経済建設
第110号	平成20年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第111号	平成20年度宇土市水道事業会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	経済建設
第112号	宇土市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	12月19日	〃	〃	
第113号	宇土市教育委員会委員の任命について	〃	〃	原案同意	
第114号	宇土市教育委員会委員の任命について	〃	〃	〃	
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃	原案答申	
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃	〃	

